船体の点検

○　船体外観の点検
目視点検で亀裂等を確認しましょう
破損箇所周辺には小さな亀裂があることも





船体破損状況

○　船底プラグ
船底プラグが緩む又は閉鎖されていないと、海水が流入し浸水します
確実に閉鎖を確認しましょう



船尾側下部プラグ



船尾側下部プラグ（水上オートバイ）

＊　船によって構造や機関の種類が異なります。詳しくは購入時の取扱説明書等を確認ください。

船体の点検

○ ステアリング

舵は滑らかに作動しますか

ハンドル（舵輪）と舵（船外機本体）がスムーズに動くか確認しましょう

作動に異常がある場合、作動油の漏油等の可能性があります



ハンドル



操舵用油圧シリンダ（船内機）



操舵用油圧シリンダ（船外機）

○ スロットル・クラッチレバー

エンジン始動前に、スロットルやクラッチのレバーはスムーズに動くか確認しましょう

点検後、レバーは中立（アイドリング）位置に



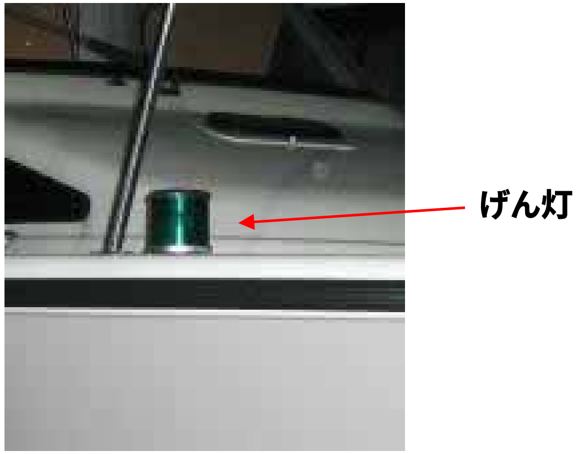


＊　船によって構造や機関の種類が異なります。詳しくは購入時の取扱説明書等を確認ください。

船体の点検

○　航海灯（又は三色灯）の点検
両色灯やげん灯などの航海灯を装備している船舶は点灯することを確認しましょう
点検後、点灯不要時は消灯





○　ビルジ（油水混合物）
機関室に、海水や燃料油、オイル等のビルジ（油水混合物）が溜まることがあります
出航前に陸揚げ処分を行い、常にビルジが溜まらない状態としましょう
浸水、漏水、漏油等の異常の早期発見が可能となります

＊　船によって構造や機関の種類が異なります。詳しくは購入時の取扱説明書等を確認ください。

船体の点検

○　スターンチューブ
プロペラ軸と船体の貫通部には海水が流入しないような構造となっています
取扱説明書等を確認のうえ、漏水がないか確認してください
（グランドパッキンタイプのものは、運転時若干の漏水を伴うこともあります）





○　プロペラドライブユニット等
プロペラや舵が曲損したりロープ等が巻き込まれていませんか
振動等が増大し、速力低下、エンジンへの負荷増大やギアの損傷等の不具合が発生する恐れがあります
ドライブユニット及び周りの状況の確認やチルト装置の作動確認も行いましょう


プロペラ･舵


船外機プロペラ


チルト機構

＊　船によって構造や機関の種類が異なります。詳しくは購入時の取扱説明書等を確認ください。